

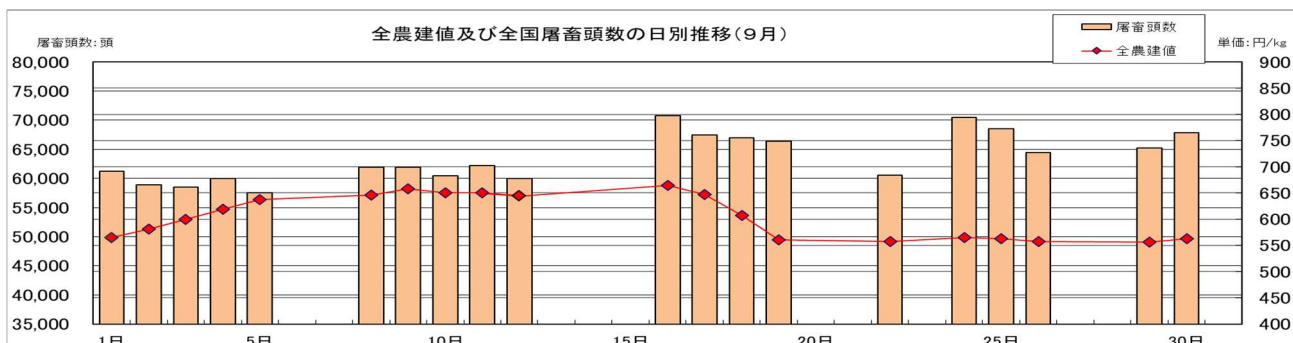
肉豚インフォメーション (9 月)

●9 月の動向

2025 年 9 月 (税抜)	2024 年 9 月 (税抜)
605 円/kg (9 円安)	614 円/kg

※全農建値

9 月前半は厳しい残暑が継続したことで、種付けや生育不良が発生し出荷頭数は伸びなかった。また、暑さの影響から末端需要も伸び悩み、量販店でも秋商材の提案がすすまなかったこともあり、相場は概ね 600 円台前半 (税抜) で推移した。

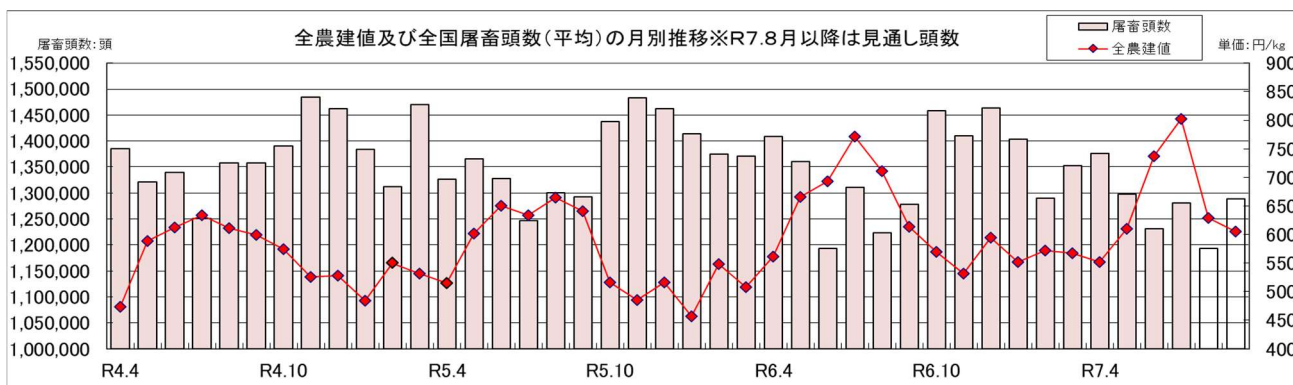


●輸入動向



●10 月の動向

10 月の出荷頭数については、前年同月をやや上回ると予測。



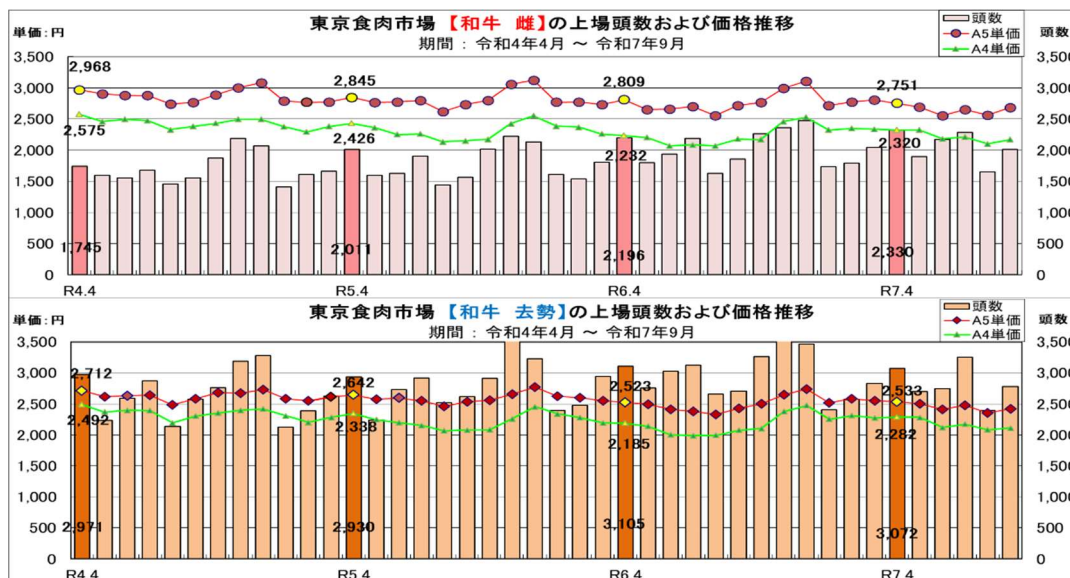
気候も涼しくなり、出荷頭数が増えてくることに加え、消費者の節約志向等から軟調な相場展開と予測。

全農建値 (税抜) 予測レンジは 600 円～650 円とする。

肉牛インフォメーション (9月)

●9月の動向

連休向けへの引き合いで一定の相場回復が見込まれたが、厳しい残暑が続いたことから消費は伸び悩み、和牛・交雑牛ともに上物が弱もちあいで推移した。



●10月の動向予測

東京食肉市場では共励会・研究会が多く開催されることから、和牛は上・中物が徐々に値を上げてくると思われる。交雑牛は、和牛の高価格と乳牛の頭数減少等の理由から、代替品として堅調に推移すると予測する。

10月相場は「小幅高」の展開と予想。

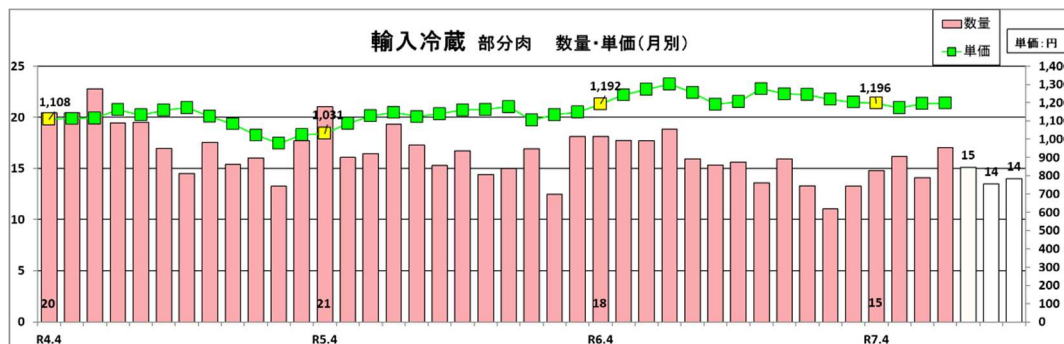
和牛去勢 A5 等級 2,400 円 (税込み) A4 等級 2,150 円 (税込み)

交雑去勢 B4 等級 1,650 円 (税込み) B3 等級 1,550 円 (税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品は、国内需要が低調な中、現地価格の高止まりや入船遅れの影響等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、9月はかなり大きく、10月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

(ALIC 牛肉の需要予測について 9月25日)



食肉インフォメーション（9月）

●9月の動向

○牛肉

上旬は猛暑の影響により消費が減少した。中旬以降になると秋らしい気候となり、肩ロース・モモなどの鍋物商材の引き合いがみられた。交雑牛は高単価の和牛や頭数不足が続く乳用牛の代替として堅調な動きがみられた。

○豚肉

9月は夏休み明けで学校給食が再開したことから、ウデ・モモなどのスソ物中心に堅調な動きがみられた。下旬からは猛暑が和らぎ、気温の低下により、肩ロースなどの鍋物商材の需要もみられた。

●10月の動向予測

○牛肉

気温が徐々に下がるにつれて、鍋物商材のスライス製品の需要が高まると見込まれる。ただし、消費者の節約志向が強まっており、荷動きの中心は切り落としになると予想される。交雑牛は、和牛の代替需要から一定の動きが見られていたが価格の上昇により落ち着いた動きになると見られる。

○豚肉

10月から3,000品目以上の食品値上げの影響から、消費者の節約志向はさらに強まると予想される。そのため安価なウデ・モモなどのスソ物中心の販売が見込まれる。気温の低下により、バラや肩ロースなど鍋物商材の需要も一部で見られる見通し。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和7年8月期） 単位：千円%

年度	J A どきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度8月	21,513	1,875	22,213	18,074	9,862	6,317	79,854
令和6年度8月	24,360	1,112	23,439	18,951	12,272	5,815	85,949
令和7年度8月	23,010	1,403	28,502	13,886	7,556	5,490	79,847
増減（R6-R7）	-1,350	291	5,063	-5,065	-4,716	-325	-6,102
対比（R5-R7）	107%	75%	128%	77%	77%	87%	100%
対比（R6-R7）	94%	126%	122%	73%	62%	94%	93%